

電子工学を用いたSDGsに関連したシステム実現のための双方向gPBLプログラム

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年09月20日 ～2025年09月28日	タイ	キングモンクット工科大学 ンブリ校	・電子工学科、電気工学科 ・学部3年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生10名、学生バイト1名、 教員3名 (キングモンクット工科大学ト ンブリ校) 学生10名、教員4名	小池 義和(電気電子工学課程 先端電子工学コース)、横 井 秀樹(電気電子工学課程 先端電子工学コース)、加納 慎一郎(電気電子工学課程先 端電子工学コース)

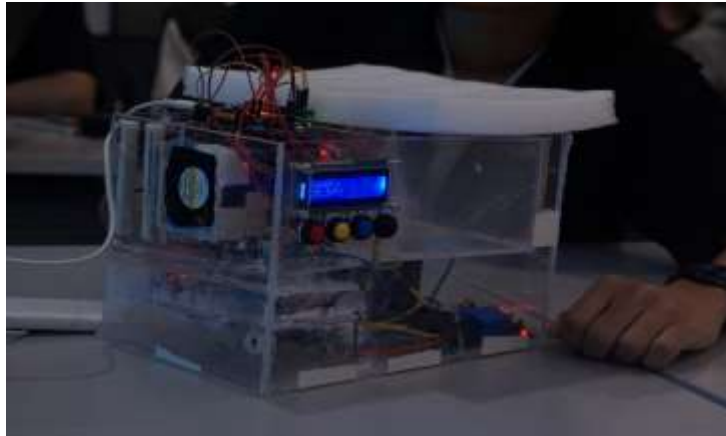


図1 PBLの成果

キングモンクット王立工科大学 (KMUTT)、Electronics and Telecommunications Engineering (ENE)学科とのグローバルPBL派遣プログラムを実施した。このプログラムは双方向で実施しており、後半のKMUTTで実施するプログラムとなる。本学の参加学生は、派遣のプログラムで電子工学国際インターンシップ2(専門、選択)の2単位が付与される。プログラム参加者はSITとKMUTT合計で1チーム4名の5チームに分かれて、ワークショップに取り組んでいる。今年度はSmart agriculture に関わるシステムの実現であり、SITでの受入プログラムで作業が始まっており、派遣プログラムでの完成を目指す。

今年度は、タイ・デジタル経済振興庁 (Digital Economy Partnership Agreement, DEPA) の支援を受けて行われた。支援によりPBL期間中にタイの通信会社が提供するEVOLUTION EXPERIENCE CENTER(EEC)を午前に見学し、午後に日本の会社の農場の見学を行っており、学生の代表が自動田植え機の体験をしている。

最終日に試作したシステムのプレゼンテーションとデモンストレーションを行い、教員により評価が行われた。最高の評価を得たチームは表彰されている。毎回のことであるが、KMUTT・ENE学科の教員、学生、及び、今年度はDEPAからの支援があり、心からの支援に感謝する。



図2 スタートアップレクチャー



図3 ファームツアー



図4 最終発表



図5 ワークショップ